



特定非営利活動法人

日本防災士会高知

特定非営利活動法人
日本防災士会高知
JAPAN BOUSAISI SOCIETY KOCHI
〒780-0951高知市塚ノ原8
Tel/Fax088-844-5635
<http://bousaishikochi.watson.jp/>

会員の皆様

スキルアップ研修へ参加しませんか



外部講師を招いての
スキルアップ研修が行われ
ました。平成二十八年一月
三十日 高知県立障害者ス
ポーツセンター（高知市春
野町）で十五名の防災士が
参加して開催しました。今
回は、高知大学地域協働学
部の大槻准教授を講師に招
き、「地域の防災力の現状、
防災士の役割を考える」を
テーマに研修に臨みました。
大槻准教授によると、防
災について「一対八の法則
があり、八割の人を「防災
させる」が防災士の役割で
ある。また、日常生活にい
かにして防災を加えていく
かが重要である。防災こそ、
楽しく無理なく、ゆるくや
る、これが色々な人を巻き
込むポイントである。この
ように研修のポイントを述
べられました。

外部講師を招いての
スキルアップ研修が行われ
ました。平成二十八年一月
三十日 高知県立障害者ス
ポーツセンター（高知市春
野町）で十五名の防災士が
参加して開催しました。今
回は、高知大学地域協働学
部の大槻准教授を講師に招
き、「地域の防災力の現状、
防災士の役割を考える」を
テーマに研修に臨みました。
大槻准教授によると、防
災について「一対八の法則
があり、八割の人を「防災
させる」が防災士の役割で
ある。また、日常生活にい
かにして防災を加えていく
かが重要である。防災こそ、
楽しく無理なく、ゆるくや
る、これが色々な人を巻き
込むポイントである。この
ように研修のポイントを述
べられました。



女性グループによる熱い議論



大槻准教授

次回（三月二十六日）の研
修で、具体的な実施プラン
として「地区防災計画」に
ついての議論が行われまし
た。

この他、会員の課題研究
として「地区防災計画」に
ついての議論が行われまし
た。

次回（三月二十六日）の研
修で、具体的な実施プラン
として「地区防災計画」に
ついての議論が行われまし
た。

日本赤十字社高知県支部
協力協定締結へ

さらに、理事会では
「平成二十八年度高知
県総合防災訓練及び地
域防災フェスティバル」

**平成二十八年度高知県
総合防災訓練へ参加**

こうち防災備えちよき隊
と危機管理部の意見交換

理事会で協定締結の
方向が確認されました
ので、さらに事務局が
日本赤十字社高知県支
部と詳細を詰めること
としました。

理事会で協定締結の
方向が確認されました
ので、さらに事務局が
日本赤十字社高知県支
部と詳細を詰めること
としました。

理事会で協定締結の
方向が確認されました
ので、さらに事務局が
日本赤十字社高知県支
部と詳細を詰めること
としました。

理事会が平成二十八
年二月五日 高知会館
(高知市)で開催され
ました。幾つかの議題
がありましたが、最初
に「日本赤十字社高知
県支部」と「NPO法
人日本防災士会高知」
の協力に関する協定の
締結検討がありました。
日頃の防災活動、救急
訓練、発災時の連携な
どを視野に入れて、協
定を締結しようという
ものです。これまで、
担当者レベルで具体的
な連携の内容や協定文
について打ち合わせが
行われており、理事会
にて内容や文書の確
認を行いました。

理事会で協定締結の
方向が確認されました
ので、さらに事務局が
日本赤十字社高知県支
部と詳細を詰めること
としました。

県危機管理部との 意見交換会

平成二十八年三月十
六日に高知県危機管理
部と「こうち防災備えちよ
き隊（備えちよき隊）」
との意見交換会が開催
されました。当NPO
は備えちよき隊の構成
員であり、防災士の役
割のもと地域や社会福
祉施設等への出前講座
や避難訓練の指導等を
行っています。

事業所や社会福祉施
設への出前講座、食品
加工工場の防災避難訓
練等、県や民間企業等
からの依頼に対しても
災士が活動しています。

出前講座や避難 訓練指導

議事では備えちよき隊
の組織要綱の改正、そ
の他のこれまでの活動を
通じての意見交換等が
ありました。



当NPOのホームページ
ページでは、活動
状況の報告、会員への
情報提供や各種様式等
のダウンロードができ
ます。ご利用ください。